

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 7 月 3 日

評価対象事業		評価者	こども相談課長 平井 あかね		
こども-21	実施事業	養育支援訪問等事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	こども相談課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援	

1 事業の目的

対象	児童等
意図	児童虐待防止の周知啓発及び要保護児童等への支援を行うため。
効果	児童虐待を未然に防止するとともに、早期に発見し、支援することで、児童が心身ともに健全に発育発達することができる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童相談助言者の配置や講座の開催等の児童虐待未然防止対策を実施した。 ・児童の養育が一時的に困難となる場合に、宿泊を含む一時的な養育・保護をした。 ・養育者が児童に不適切な養育を行い、児童虐待のリスクを抱え、特に支援が必要と認められる家庭に日常生活支援を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	1,978	692	当初予算(千円)	1,576			
	国県支出金	1,540	592	国県支出金	912			
	地方債			地方債				
	その他			その他	34			
	一般財源	438	100	一般財源	630			
	人員配置数	0.2	0.2	人員配置数	0.2			
事業経費運営	人件費(千円)	1,612	1,583	人件費(千円)	1,571			
	総事業費(千円)	3,590	2,275	総事業費(千円)	3,147			
	市民1人当りの経費(円)	20	13	市民1人当りの経費(円)	18			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済 <input type="radio"/> 適正な受益者負担を導入している
		<input type="radio"/> 既に市民等と協働して事業を実施しているが、協働のあり方等の見直しが必要である
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	<input type="radio"/> 協働実施済 <input type="radio"/> 協働実施済の場合のパートナー NPO法人

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	事業へ統合
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒				
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	児童虐待の未然防止のため、現状の事業規模を維持。		
	<input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする				
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する				

総評(評価に対する考え方、根拠等)	現在の事業(子育て講座の開催、養育支援が必要と認められる家庭への支援)を継続して実施することで、子育て中の家庭を支援し、児童虐待の早期発見・未然防止に役立てていく。
-------------------	--

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度途中で、継続して実施していた「どならない子育て講座」が、ライセンスの使用の関係で実施できなくなったため、新たな子育て支援講座の実施について検討を行う。 子育て支援講座開催のためのファシリテーター養成について交付対象外となった。 	
課題解決のために行った平成28年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度は、「どならない子育て講座」の代替の子育て支援講座について検討を行い、平成29年度から、2歳半から小学生の親を対象に、「目からウロコの子育て講座」を実施することとした。 子育て支援講座開催のためのファシリテーター養成について交付対象外となったが、予算を流用し、BP(ベビープログラム)2名のファシリテーター養成を行った。 	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	新たな子育て支援講座として実施する「目からウロコの子育て講座」について、これまでの講座と同様、児童虐待の未然防止につながるものとなるべく、その実施内容及び効果を検討・検証する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較)

比較事項	各種子育て支援講座開催日数(H28年度分・鎌倉三浦児童相談所所管市町に確認 (※逗子市、三浦市の実績には、プレママ・パパ、離乳食等、母子保健的な講座も含める。また三浦市の実績には、子育て支援センターへの委託分22回含む)							
団体名	鎌倉市	逗子市	三浦市	葉山町				
他市実績	35	10	36	21				
比較事項								
団体名								
他市実績								
比較事項								
団体名								
他市実績								
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	鎌倉市以外の3市町は、担当課が母子保健の部門も包含しており、実績には母子保健関係の講座も含まれているため、一概に比較はできないが、現在本市では、①第1子で2～5ヵ月の子を持つ母子向け、②ゼロ～就学前の子を持つ母向け、③2歳半～小学生の子を持つ親向けと、子育ての各段階に応じた各種講座を実施しており、市民からも好評を得ている。今後も随時内容を精査し、子育て世代のニーズに応じた講座開催について検討していく。							

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	子育て支援講座参加者数						単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	※28年度については予定していた「どならない子育て講座」が途中で実施できなくなったため、昨年より減少			
児童虐待未然防止のため	目標値	140	140	140	140	140	140				
	実績値	114	144	96							
	達成率	81.4%	102.9%	68.6%							
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	平成28年度については予定していた「どならない子育て講座」が途中で実施できなくなったため、昨年より減少。今年度は、3歳児から小学生の親を対象に、「目からウロコの子育て講座」を実施することとしており、今後も子育ての各段階に応じた講座開催を検討していく。										